

—金大中氏が危ない!—



号外
1981.1.22
発行 立志社
関西支社
604
京都市中京郵便
局 郵便箱16号
日、15日発行
定期購読を!

みなさん!
金大中氏ら民主人士に対する韓国大法院判決が、一月二十三日に下されようとしている。

金大中氏らを救え!という内外の世論と運動の盛り上がりによってふり上げたこぶしをおろせばにいた全斗煥が、金大中氏らに極刑判決を下そうとしている。

今こそ、昨秋以来繰り返されてきた金大中氏救出の国民運動の全力を結集し、金大中氏の即時釈放、原状回復の実現のために奮闘しよう!

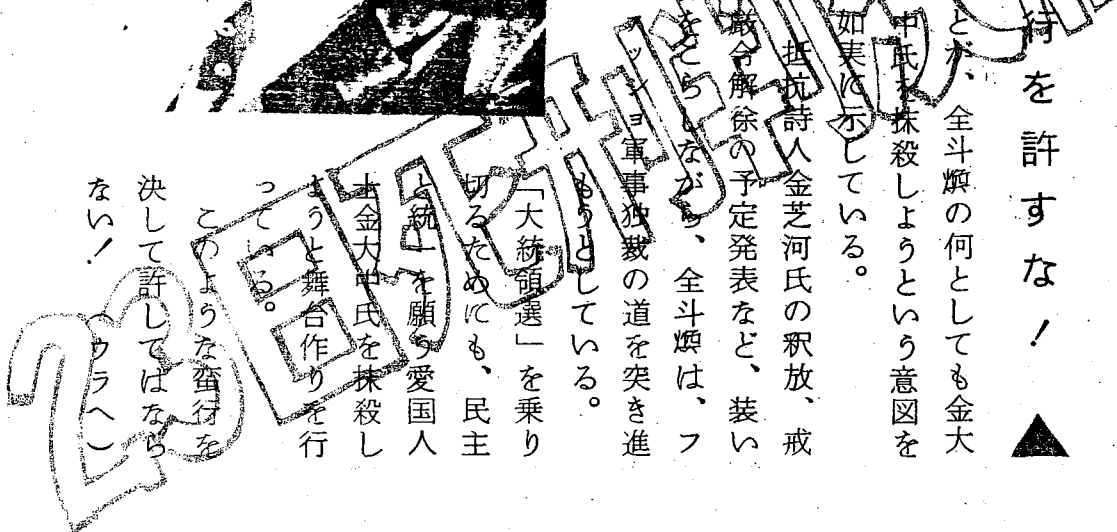
▼金大中氏抹殺の輩行を許すな! ▲

金大中氏らへの裁判が、抹殺とが、全斗煥の何としても金大中氏を狙う暗黒裁判であることは、中氏を抹殺しようという意図をすでに明らかだ。第一審一ヵ月如表に示している。

余り、控訴審七日間、大法院二ヵ月余りという超スピード審理起訴事実の明白なねつ造、拷問による自白の強制、これらのこと



「大統領選」を乗り切るためにも、民主統一を願う愛国人士金大中氏を抹殺しようとする舞合作りをしている。
このような輩行を決して許してはならない!
ウラヘ!



—23日判決！—金大中氏に自由を！—

▼金大中氏に自由を！

朝鮮の平和・統一のために！▲

金大中氏は、韓国の民主化と分断された祖国の統一を願い、一身を投げうって活動を続けてきた。

朝鮮の統一は、南北を通じて朝鮮民族の歴史的悲願である。そればかりか、朝鮮自主的平和統一の実現は、侵略・拡張・覇権主義を強めるソ連の東北アジアへの侵出を防ぎ、米軍の撤退を不可欠とするものであり、アジアの、ひいては世界の平和のために重要な意義を持つものである。

そして韓国の民主化は、自主的平和統一のためには是非とも必要であり、金大中氏はなくてはならない人物である。平和と民主主義を愛する私達日本国民は金大中氏を救うため、できる限りの努力をしよう！

この中で日本政府は、未だ、

●日本政府は全斗煥へのテコ入れをやめよ！
「政治決着」を見直し、金大中氏の原状回復をはかれ！

●朝鮮の自主的平和統一支持！
アジア—朝鮮の緊張緩和・平和のために、
日本政府は対朝鮮政策を転換せよ！

金大中氏ら致事件の際の政治決着の反省をせず、全斗煥ファッショ独裁政権への加担・肩入れを行っている。日本政府と一部の支配層が、過去の誤りを省みず、韓国のファッショ独裁政権への加担を続け、民主人士の迫害に手を貸すことは、日朝両民族の友好と我が国の将来に、消すことのできない禍根を加えることになる。日本政府の韓国ファッショ独裁政権への肩入れに反対し、対朝鮮政策の改善と金大中氏の原状回復を求める広範な国民運動を更に大きく発展させ、韓国の民主化と朝鮮の自主的平和統一を支持する日本の国民運動の発展をもって、日朝両民族の友好と東北アジアの平和のために全力を傾けよう！
全力をあげて金大中氏の即時釈放—原状回復を実現しよう！